

議 事 録

会 議 の 名 称	第 2 5 回玉里学園義務教育学校開校準備委員会																																																
開 催 日 時	令和 2 年 1 0 月 1 4 日 (水) 1 9 時 0 0 分～																																																
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室																																																
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>相澤 博文</td> <td>市村 勝則</td> <td>大山 敏治</td> <td>亀井 研一</td> </tr> <tr> <td>阿部 進</td> <td>山口 祐甚</td> <td>室町 恭司</td> <td>上田貢一郎</td> </tr> <tr> <td>川崎 良明</td> <td>山口 速美</td> <td>谷萩 成利</td> <td>大関 律子</td> </tr> <tr> <td>堀川 和男</td> <td>稲田 義弘</td> <td>園部ゆかり</td> <td>新妻 広章</td> </tr> <tr> <td>皆川 修</td> <td>相澤 牧夫</td> <td>大曾根宏一</td> <td>吉永 成範</td> </tr> <tr> <td>吉田 行博</td> <td>渡邊 信幸</td> <td>吉倉 一郎</td> <td>田口 茂</td> </tr> <tr> <td>亀井 優</td> <td>藤田 泰正</td> <td>菊地 隆男</td> <td>戸田 見良</td> </tr> <tr> <td>大山 徳</td> <td>羽鳥 文雄</td> <td>鶴町 直樹</td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>狩谷 孝則</td> <td>橋本 昌弘</td> <td>沼田 悦雄</td> <td>大槻 良明</td> </tr> <tr> <td>長津 智之</td> <td>原田 啓司</td> <td>戸田 大我</td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>中村 均</td> <td>狩谷 秀一</td> <td>片岡 理一</td> <td>長島 正昭</td> </tr> <tr> <td>狩谷 学</td> <td>植田 薫</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> </tr> </table>	相澤 博文	市村 勝則	大山 敏治	亀井 研一	阿部 進	山口 祐甚	室町 恭司	上田貢一郎	川崎 良明	山口 速美	谷萩 成利	大関 律子	堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修	相澤 牧夫	大曾根宏一	吉永 成範	吉田 行博	渡邊 信幸	吉倉 一郎	田口 茂	亀井 優	藤田 泰正	菊地 隆男	戸田 見良	大山 徳	羽鳥 文雄	鶴町 直樹		狩谷 孝則	橋本 昌弘	沼田 悦雄	大槻 良明	長津 智之	原田 啓司	戸田 大我		中村 均	狩谷 秀一	片岡 理一	長島 正昭	狩谷 学	植田 薫	入野裕美子	
相澤 博文	市村 勝則	大山 敏治	亀井 研一																																														
阿部 進	山口 祐甚	室町 恭司	上田貢一郎																																														
川崎 良明	山口 速美	谷萩 成利	大関 律子																																														
堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章																																														
皆川 修	相澤 牧夫	大曾根宏一	吉永 成範																																														
吉田 行博	渡邊 信幸	吉倉 一郎	田口 茂																																														
亀井 優	藤田 泰正	菊地 隆男	戸田 見良																																														
大山 徳	羽鳥 文雄	鶴町 直樹																																															
狩谷 孝則	橋本 昌弘	沼田 悦雄	大槻 良明																																														
長津 智之	原田 啓司	戸田 大我																																															
中村 均	狩谷 秀一	片岡 理一	長島 正昭																																														
狩谷 学	植田 薫	入野裕美子																																															
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会からの報告 ・ 校歌制作 																																																
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 ほか)																																																
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																

【委員長あいさつ】

お疲れのところ、委員会に出席いただきまして、ありがとうございます。
開校まで、約半年となってまいりました。
皆様のご協力により、さまざまな事項が決定してきております。
本日の議題についてですが、専門部会からの報告と校歌の検討となります。
特に、校歌につきましては、皆様のご意見をいただきながら、歌詞の構成を決定していきたいと思います。
審議がスムーズに進みますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【協 議】

(1) 学校運営部会からの報告

◆資料1-3に基づき、部会長より説明

委員長 意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、報告のとおり進めていくこととする。

【協 議】

(2) P T A部会からの報告

◆資料1-1に基づき、部会長より説明

委員長 意見や質問等はあるか。

委 員 P T A活動として立哨活動を実施するとのことであるが、地区のボランティアで立哨活動を実施している人たちは、保護者にもなるべく児童と一緒に歩いてほしいと話している。

登下校中は、例えば、縁石の上を歩いたり、転んでけがをしたりと、さまざまなトラブルが発生するため、こうした実態を知るためにも、毎日だけでなく、保護者も一緒に歩いてほしい。

委 員 地区委員会の地区ブロックについて、分け方の理由はあるか。

事務局 まず、隣り合った行政区であること、そして、各ブロックの世帯数が概ね同数となることを考慮して決定した。

委員長 そのほか、意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、報告のとおり進めていくこととする。

【協 議】

(3) 総務・通学部会からの報告

《北部地域の遠距離通学支援》

◆資料1-2に基づき、部会長より説明

委員長 意見や質問等はあるか。

委 員 部会資料7-1の15の危険箇所について、竹が伸びていることに関しては、地区で剪定したり、市の管理課に相談したりしているが、こまめに対応してもらいたい。

【協 議】

校歌についての検討

《校歌歌詞についての検討》

◆これまでの流れについて、事務局より説明

◆総務・通学部会の協議結果について、資料1-2に基づき、部会長より説明

—学校ごとのグループ協議①（10分間）—

委員長 学校ごとのグループ協議の結果について、発表をお願いしたい。

玉里小 支持数は、A案が4名、B案が4名となった。

A案を支持する理由として、1節完結型で制作されているので使いやすい、言葉のニュアンスが、低学年にも歌いやすいという意見が上がった。

B案を支持する理由として、それぞれの学年に応じた節を歌うと良い、1～3節を歌うごとに気持ちが高まる構成になっていて良い、中学生を意識すると、言葉がふさわしいという意見が上がった。

玉里北小 支持数は、A案が7名、B案が0名となった。

理由としては、まず、B案は、各節が学年区分に分かれているとのことだが、使う言葉の難易度が変わらなく、構成として、A案と大差ないこと、新しさがないことが上がった。

A案については、構成が分かりやすくなっている、歌詞が韻を踏んでいて歌いやすい、校歌は1節のみ歌うという機会はなく、全体を通して歌うため、A案が良いのではないかという意見が上がった。

玉里東小 支持数は、A案が1名、B案が6名となった。

A案は、1節のみでも歌いやすいという意見が上がった。

B案は、今までの校歌と違って新しい感じがして、新しい学校にふさわしい、学年に合った歌が歌えるという意見が上がった。

また、子どもたちに意見を聞いても良いのではないかという意見もあった。

玉里中 支持数は、A案が7名、B案が0名となった。

理由として、シンプルな配列で分かりやすい、1節目に重きが置かれているように感じて良いといった意見が上がった。

事務局 各校グループの話し合いによる集計結果は、A案が19名、B案が10名となった。

委員長 協議の結果、A案のバランス型を、歌詞の構成として決定する。
2回目の協議では、決定したA案について、修正箇所や気になる点を話し合っていたいただき、発表していただくので、よろしくお願いいたします。

—学校ごとのグループ協議②（10分間）—

委員長 学校ごとのグループ協議の結果について、発表をお願いしたい。

玉里小 1節目1行目について、「山並み仰ぎ」は、筑波山は山並みではないため、「峰をいただき」などとしてはどうか。

2節目2行目について、「かすみがうら」は、「霞ヶ浦」と漢字表記の方が良い。

2節目6行目について、「永遠（とこしえ）」という言葉は、子どもたちにはなじみがないだろうということで、「えいえん」とした方が良い。

3節目4行目について、「学びの舎（ば）」と、「ば」で終わることが気になるということや、1節目が「意気高く」、2節目が「仲間たち」と表現されているなかで、3節目のみ雰囲気が違う。どんな言葉が良いか考えたが、難しいため、全く別な言葉に置き換えてほしい。

3節目6行目について、「明日（あす）に向かって」の「明日」は、メロディーによっては「あす」になったり「あした」になったりするだろうとのことであった。

玉里北小 2節目1行目と2行目の繋がりについて、「こころ育くむ」がどう反映されるのかが分かりにくい。また、送り仮名は、校歌としての表現なのかもしれないが、「育くむ」ではなく、「育む」であると思う。

2節目4行目について、「学びの舎（ば）」という表現は気になるので、「学び舎（や）の」などとすると良い。

全節5行目の「あゝ 玉里学園」は、メロディーがついて、どう歌うかによって、長く歌うか短く歌うかなど、イメージが変わってくると思う。

玉里東小 1節目1行目について、「はるか筑波の 山並み仰ぎ」は、「はるかに仰ぐ紫紺の筑波」としてはどうか。

2節目1行目について、「かすみがうら」は漢字表記が良い。
全体的に当て字が多い。

2節目6行目について、「とこしえ」ではなく、「えいえん」の方が良い。

3節目1行目について、「陽光」ではなく「ひかり」とひらがなが良い。

3節目4行目について、「学びの舎（ば）」の「舎」は「ば」とは読まないのではないか。

全節5行目について、B案から引用し、「玉里学園 未来（あした）をめざし」、「玉里学園 仲間が集い」、「玉里学園 希望を胸に」としてはどうか。
全体的には、もっとわかりやすく簡単にした方が良いのではないか。

玉里中 2節目2行目の「かすみがうら」の漢字表記と、「永遠」の「とこしえ」の読み方は、「えいえん」の方が良いというのは、他のグループと同意見であった。

3節目2行目について、小美玉市のキャッチフレーズに、「人が輝く水と緑の交流都市」があり、1節目に筑波、2節目に霞ヶ浦が入っているため、3節目は玉里が入ることを踏まえ、「緑と水が輝く玉里」としてはどうか。

1～3節目4行目について、1～3節の難易度を順に上げていくとすると、「意気高く」は難しいため、「未来を創る 仲間たち」、「笑顔で集う 学びの舎」、「互いに励む 意気高く」というように、フレーズを入れ替えてはどうか。

3節目6行目について、「明日」ではなく、「未来」と表記して「あした」と読ませてはどうか。

1～3節目5行目について、「あゝ 玉里学園」を「あゝ 玉里 玉里」と、玉里を繰り返してはどうか。

委員長 委員会で上がった意見を、制作会社へ伝え、修正を依頼することになるが、今後の流れについて、確認したい。

事務局 決定したA案と、皆さんからいただいた意見を取りまとめ、制作会社へ修正を依頼する。

制作者は、子どもたちの歌いやすさや全体のバランスを考慮して制作しているため、修正にあたって、今回いただいた内容の全てを反映させることは、難しいということをご承知おきいただきたい。

歌詞の修正が完了次第、楽曲の制作となる。

楽曲についても、2パターンが制作されるので、12月の総務・通学部会、準備委員会において、それぞれ比較検討し、校歌を決定するという流れを予定している。

【その他】

副委員長 議事のほか、ご意見、ご質問等はあるか。

委員 開校にあたって、4校の小中学校が閉校となる。

この閉校となる学校の再利用についても、考えていかなければならない課題だと思う。

例えば、玉里東小学校の体育館について、大会で利用した際、他校の児童から使いやすいとの感想をもらった。

閉校後、グラウンドの管理等も難しくなると思うので、新しい学校のことだけでなく、閉校する学校のことも考えていかなければならないと思う。

閉会 (20:20)